

茨城の国語教育

第十八号

目次

幼児期書字支援のあるべき姿について	齋木 久美	1
七夕詩と七夕歌		
—— 伝統文化教育の視点から ——	李 満紅	9
なぜ作文の添削指導では 話し言葉を書き言葉に直すのか		
—— 「なので」の用例を通して ——	鈴木 一史	17
川端康成「伊豆の踊子」試論		
↳ 『水戸黄門漫遊記』と重なる世界観↳	宮崎 尚子	26
説明的文章教材の教材研究試論	昌子 佳広	36

編集後記

茨城国語教育学会の学会誌『茨城の国語教育』がデジタル対応になりました。これにより、いくつかの変化が生じます。

- 一 カラー印刷が可能になる
 - 二 会員以外からのアクセスや検索が可能になる
 - 三 隔年発行から毎年発行になる
 - 四 より多くの会員からの投稿が掲載可能になる
- など、良いことばかりのようにも見えますが、紙で纏められた会誌を繙いて繰ってみることに精神性は明らかに失われます。会員の先生方には、不易と流行の狭間で、この学会誌を共に育てていただくと切にお願いいたします。

(鈴木K)

茨城の国語教育 第十八号

令和五年三月三十一日 発行

編集兼
発行

茨城国語教育学会

代表 齋木久美

〒310-8512 水戸市文京二ノ一

茨城大学教育学部国語教育教室

電話 〇二九一三二八八二二三